NoiseKen®

取扱説明書

ラディエーションプローブ

MODEL 01-00006A
01-00007A
01-00008A
01-00009A
01-00010A
01-00030A
01-00031A

株式会社 ノイズ研究所

第 1.02 **版**
AEB00310-001-0C

お断り

- 本書の内容は予告なく変更されることがあります。

- 株式会社ノイズ研究所の許可なしに、いかなる方法においても本書の複写、転載を禁じます。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご購入元までご連絡ください。

- 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、ノイズ研究所及びノイズ研究所指定の者以外の第三者によって修理、変更されたこと等に起因して生じた障害や損害等につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本体を変更したり、改造をした結果、障害や損害が発生した場合一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

- 本製品を運用した結果につきましては、上記に関わらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

- 本書内で、上記記載以外の商標や会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、株式会社ノイズ研究所に所属するものではありません。

- 安全保障輸出管理制度　　～当社製品の輸出についてのお願い～

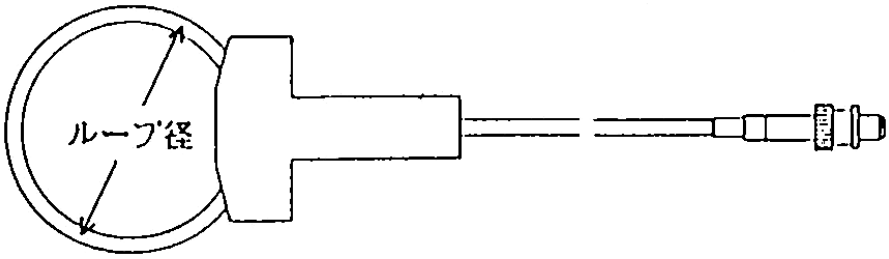
本製品は、輸出貿易管理令別表第一第 1～15 項までには該当しておりませんが、第 16 項のキャッチ・オール規制対象貨物に該当します。よって、当社製品を海外へ輸出、または一時的に持ち出す場合には最終需要者・最終用途等の確認審査をおこなう為、事前に当社へ輸出連絡書の提出をお願いしております。記載内容につきましては、お客様を信頼し、輸出連絡書に記載の最終仕向け国・最終需要者･最終用途等をもって、輸出貿易管理令別表第一第 16 項規制の確認をさせて頂きます。
輸出規制の法律を厳守する為、輸出連絡書の提出を必ずお願い致します。また、国内外の取引先に転売する場合は、転売先に上記内容についてご通知をお願い致します。

※　上記内容は法令に基づいておりますので、法令の改正等により変更される場合があります。法令の規制内容・輸出手続等についての詳細は政府機関の窓口（経済産業省 貿易経済協力局 貿易管理部 安全保障貿易管理課等）へお問い合わせください。

1. 概要

本プローブは、当社の INS シリーズに接続し、電子機器内部の配線（PC ボード）等に電磁界による輻射ノイズを与え、電子機器の輻射ノイズに弱い部分を探すためのものです。
※ 安全のための注意事項、保証などに関する規定は、本体の取扱説明書に記載された内容に従ってください。

2. 外観図



			（ループ径）
MODEL	01-00006A	……	φ 50 mm
	01-00007A	……	φ 75 mm
	01-00008A	……	φ100 mm
	01-00009A	……	φ150 mm
	01-00010A	……	φ200 mm
	01-00030A	……	φ300 mm
	01-00031A	……	φ250 mm

3. 仕様

- 入力電圧 …… ±4000V MAX
- 入力パルス幅 …… 50ｎｓ ～1μｓ
- ケーブル長さ …… 約 2 m
- 重量 …… ループ径φ 50 mm／約 175 g
  ループ径φ150 mm／約 200 g
- 適合コネクタ …… NMHV 型（ノイズ研仕様）

【注意】

- 必ず、INS シリーズに接続してご使用ください。
- 本プローブは、INS の 4300 シリーズ、AX シリーズ、4001 等の 3 kV、4 kV タイプ用に製作してあります。INS-420 等の 2 kV タイプにご使用の時は変換コネクタが別途必要となります。(02-00034A)

4. 使用方法

① 図のように、まず本プローブのコネクタを 50Ωターミネータに接続し、その反対側を INS シリーズの PULSE OUT 端子に接続します。

② パルス幅、繰り返し周期、極性を設定します。

③ INS の POWER スイッチを ON にします。

④ 出力電圧計を、誤動作すると予想される電圧にします。

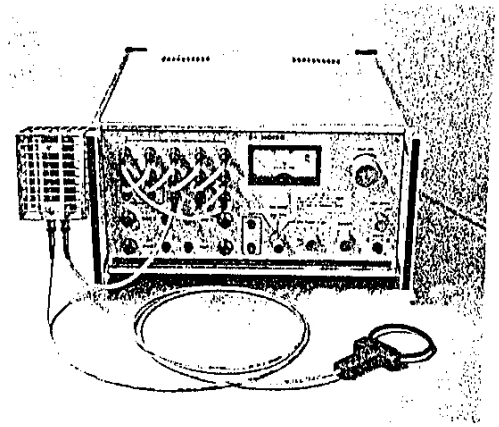
⑤ 図のように、作動状態にある電子機器の内外、束線、PC ボード等に本プローブを近づけます。この時、近づける距離を一定に保つようにします。

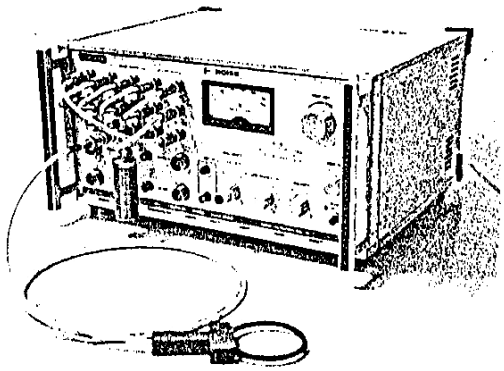
⑥ 本プローブを移動させて、誤動作する場所を探します。

⑦ INS の出力電圧、パルス幅、繰り返し周期、極性等の設定条件を変えて⑤⑥を繰り返します。

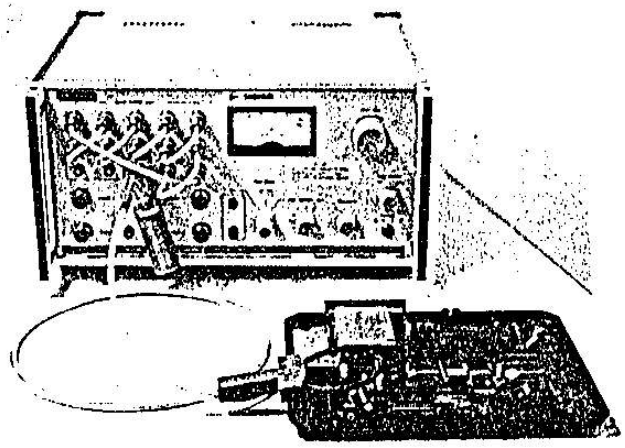
⑧ ⑤～⑦のデータより、電子機器にノイズ対策を施して誤動作しないようにします。

⑨ さらに⑤～⑧を繰り返し、より強い電磁輻射ノイズでも誤動作しないようにノイズ対策を施します。





【注意】
ノイズシミュレータ本体の高圧リレーの寿命に本プローブの使用時間が直接影響します。
試験中以外はリレーの寿命を延ばすため、必ず出力電圧計の目盛を“ゼロ”にしてください。



メモ

発行元　株式会社 ノイズ研究所

落丁・乱丁はお取り替えいたします。
PRINTED IN JAPAN